

栃木県農業大学校



農業大学校では、優れた農業経営者等を育成するため、専門性の高い知識、技術や経営管理能力が修得できるよう、作物の栽培や牛の飼養管理及び経営管理等に関する講義・実験と実習の履修時間をおおむね50：50の割合で実施しています。

次世代型園芸人材育成施設



「園芸大国とちぎづくり」の一翼を担う意欲ある人材の育成を図るため、先端技術を用いた園芸の育苗施設をはじめ、機械化一貫体系による露地野菜の生産を実践的に学ぶ事ができる教育環境を整備しています。

グローバル G.A.P. 認証の取得



次代の農業経営者に必須である G.A.P.（農業生産工程管理）教育の強化のため、2017年（平成29年）11月に国際的な認証制度であるグローバル G.A.P. の認証を梨で取得しました。

全国の県立農業大学校におけるグローバル G.A.P. の認証取得は、3 番目の取組となり、認証継続 6 年目です。

夢を育むドリーム牛舎

ドリーム牛舎は、I C T等の先端技術を活用した最新式の家畜管理施設で、乳用牛と肉用牛を一体的に飼養できる複合型牛舎です。

監視カメラや行動モニタリング機器等の情報通信技術を活用することで牛舎以外のどこからでも発情や分娩の状況が確認できます。

畜産に「夢」を持った学生がたくさん入学し、ドリーム牛舎で様々な技術を学べるよう、教育内容も充実させています。



次世代型最先端（高軒高）トマトハウス



高軒高ハウスは、ハイワイヤー栽培によるトマトの促成長期栽培が可能で、高収量が見込める先進的なハウスです。

I C Tを活用した複合環境制御やスマートフォン等による栽培環境データの把握が可能です。先進的な栽培技術を学ぶことができます。



農業総合学科

■ 作物専攻 水稻・麦・大豆等

水田センサーなどICT技術を活用した水稻栽培や麦、大豆等の水田農業経営について学んでいます。

■ 露地野菜専攻 ねぎ・たまねぎ等

水田での機械化一貫体系による露地野菜の栽培など、収益性の高い土地利用型農業経営について学んでいます。

■ 施設野菜専攻 いちご・トマト等

いちごは「とちあいか」「とちおとめ」など県が開発した品種を取り入れ、最新の栽培技術を学んでいます。トマトは、次世代型（高軒高）ハウスで促成長期栽培、養液施設で促成栽培を学んでいます。

■ 花き専攻 きく・カーネーション・シクラメン等

環境にやさしい花き栽培を目指し、新たに①簡易施設で栽培可能な品種の検討、②省エネ、③コスト削減、④省力化及び⑤脱プラスチックの5つの目標を掲げ、栽培を中心に知識・技術を学んでいます。

■ 果樹専攻 なし・ぶどう・りんご等

なしのグローバルG.A.Pの認証に加えて、なし及びぶどうの「根圏制御栽培」等について学んでいます。



畜産学科

■ 酪農・肉用牛

ICTを駆使した新牛舎（ドリーム牛舎）を活用して、飼養管理・人工授精・飼料作物栽培等、魅力的かつ実践的な畜産経営について学んでいます。



いちご学科

優れた技術と高い経営能力を持ち、将来地域のリーダーとなる「いちご経営者」の育成を目指すため、最先端の栽培技術を活用したいちご栽培技術や経営者に求められる知識の習得、先進的いちご農家での実践的な実習の実施等、最新の栽培技術と知識について学んでいます。

